

科目名	数 学 I	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組	
学 習 の 到達目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材	改訂版 新 高校の数学Ⅰ (数研出版) 改訂版 ポイントノート数学Ⅰ (数研出版)	
評 価 規 準						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。				・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力が身に付いている。				・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・プリント ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。				・課題への取組 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
学 習 計 画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考査
1 学 期	第1章 数と式 第1節 数と式の計算 第2節 1次不等式 第4章 集合と命題	・中学校で学んだ基本事項の復習と基礎計算を中心にした問題演習を行い、学習内容の定着を確認する。 ・整式の加法、減法の計算ができるようにする。 ・式を、1つの文字に着目して整理したり、置き換えたりするなどして、既に学習した方法と関連付けて処理できるようにする。 ・新たな因数分解公式を加えて、因数分解を自在に使いこなせるようにする。 ・数の体系についての理解を深め、簡単な無理数の計算ができるようにする。 ・数量の間の大小関係や不等式の性質を理解して、1次不等式の解き方を習得する。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。				期 末
2 学 期	第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3章 図形と計量 第1節 三角比	・互いに関連しながら変化するものとしての関数の概念や関数の定義域・値域を理解する。 ・2次関数のグラフの特徴を理解するとともに、グラフをかけるようにする。 ・2次関数の値の変化について理解する。 ・2次方程式の解とグラフの関係を理解し、グラフを用いて2次不等式を解けるようにする。 ・三角比としてのタンジェント、サイン、コサインの意味を理解し、直角三角形の辺と角の間の基本的な関係を使えるようにする。 ・座標を用いた鈍角の三角比の求め方を理解する。 ・日常の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決できるようにする。				中 間 ・ 期 末
3 学 期	第2節 三角形への応用 第5章 データの分析	・一般の三角形の辺と角との間に成立する三角形の面積の公式と、正弦定理、余弦定理を導き、それらを活用できるようにする。 ・統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。				学 年 末

科目名	数学Ⅰ・A	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 1年2組	
学習の到達目標	数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、図形の性質及び場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	改訂版新編 数学Ⅰ（数研出版） 改訂版新編 数学A（数研出版） 改訂版Study-Upノート 数学Ⅰ＋A（数研出版）	
評価						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。				・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力が身に付いている。				・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・プリント ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。				・課題への取組 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	〔数学Ⅰ〕 第1章 数と式 式の計算 実数 1次不等式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 2次関数とグラフ 2次関数の値と変化 2次方程式と2次不等式		・式を、目的に応じて1つの文字に着目したり置き換えたりして、既に学習した計算の方法と関連付けて多面的に捉えたり適切に変形できるようにする。数の体系についての理解を深め、不等式の性質を理解して1次不等式を解く方法を考察する。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。 ・2次関数について理解し、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、それを具体的な事象の考察、2次方程式や2次不等式を解くことなどに活用できるようにする。			期末
2 学 期	〔数学A〕 第1章 場合の数と確率 場合の数 確率 〔数学Ⅰ〕 第5章 データの分析 〔数学A〕 第2章 図形の性質 平面図形 空間図形		・数え上げの原則や、順列・組合せ及びその総数の求め方について理解する。また、確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。 ・三角形や円などの基本的な平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、図形の見方を豊かにするとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。			中間・期末
3 学 期	〔数学Ⅰ〕 第4章 図形と計量 三角比 三角形への応用		・直角三角形における三角比の意味、それを鈍角まで拡張する意義及び図形の計量の基本的な性質について理解し、角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。			学年末

科目名	数学A	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組	
学 習 の 到達目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	改訂版 新 高校の数学A (数研出版) 改訂版ポイントノート数学A (数研出版)	
評 価 規 準						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。				・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力が身に付いている。				・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・プリント ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。				・課題への取組 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
学 習 計 画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考査
1 学 期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	・ 樹形図を用いたり順序だてて並べたりすることで、場合の数をもれなく重複なく数えることができるようにする。 ・ 場合の数に関して成り立つ和の法則・積の法則を正しく用いることができるようにする。 ・ 順列と組合せの意味を理解し、場合の数を求めることができるようにする。 ・ 確率についての基本的な性質を理解し、いろいろな事象の確率を求めることができるようにする。				期末
2 学 期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形	・ 独立な試行の意味を具体例を通して理解し、反復試行の確率を組合せの公式を活用して求めることができるようにする。また、条件付き確率や期待値について理解し、求めることができるようにする。 ・ 角の二等分線と辺の比の関係、重心、内心、外心、弧、弦、円周角、中心角などの性質を理解し、角の大きさや線分の長さを求めることができるようにする。 ・ 円に内接する四角形の性質及び四角形が円に内接するための条件、円の接線と接点を通る弦とのなす角の性質、方べきの定理及び二つの円の位置関係などを扱い、これらを図形の性質の考察に活用できるようにする。 ・ 中学校で学んだ基本的な作図を行うことができ、それをもとに円の接線が作図できるようにする。 ・ 中学校での学習内容を踏まえ、2直線、2平面の位置関係や直線と平面の位置関係を理解させ、角の大きさや関係性を求めることができるようにする。 ・ 多面体などに関する基本的な性質を理解する。				中間・期末
3 学 期	第3章 数学と人間の活動	・ 整数の約数、倍数や素数に関する基礎的な事柄を扱い、それらを具体的な問題の解決に活用できるようにする。 ・ 最大公約数を求める方法としてユークリッドの互除法を理解させ、その有用性を認識させる。 ・ 2進法について理解させ、10進法との書き換えができるようにする。 ・ 地図上における特定の位置を座標の考えのように2つの要素で表したり、空間内にある点の位置を座標として読み取ることができるようにする。				学年末

科目名	数 学 II	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 普 通 科	2年1組（選択） 2年2組（選択）
学 習 の 到達目標	いろいろな式、図形と方程式、および三角関数の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識させて、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	新編 数学Ⅱ Study-Upノート 数学Ⅱ (数研出版) (数研出版)	
評 価 規 準						
観 点		評 価 規 準			方 法	
知識・技能		基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。			・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
思考・判断・表現		各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力が身に付いている。			・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・プリント ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。			・課題への取組 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式		・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算や恒等式について理解できるようにする。 ・等式・不等式の証明を理解し、それを通して論証についての理解を深める。 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。 ・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。			期 末
2 学 期	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域		・座標平面上において、2点間の距離や線分の内分点、外分点、点相互の位置関係を考察することができるようにする。 ・いろいろな条件を満たす直線の方程式を求め、2直線の位置関係を傾きの関係でとらえることができるようにする。 ・座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現して、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。			中 間・ 期 末
3 学 期	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理		・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 ・加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。			学 年 末

科目名	数学Ⅱ・B・C	単位数	6	学科・学年・学級	普通科 2年2組（選択）	
学習の到達目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列および平面ベクトルの考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	新編 数学Ⅱ（数研出版） 新編 数学B（数研出版） 新編 数学C（数研出版） クリアー 数学Ⅱ+B+C（数研出版）	
評価規準						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。				・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力が身に付いている。				・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・プリント ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。				・課題への取組 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
学習計画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考査
1 学 期	〔数学Ⅱ〕 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式	・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算や恒等式、等式・不等式の証明について理解できるようにする。 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。 ・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 ・座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察し処理するとともに、その有用性を認識し、いろいろな図形の考察に活用できるようにする。 ・図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。				期 末
2 学 期	〔数学C〕 第1章 平面上のベクトル 第2章 空間のベクトル 〔数学Ⅱ〕 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数 〔数学B〕 第1章 数列	・ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。 ・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係、加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・指数関数と対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・等差数列、等比数列などの基本的な数列について、一般項や和を求めたり、記号Σの意味を理解しそれを用いたりできるようにする。また、いろいろな数列についても、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。				中 間・ 期 末
3 学 期	〔数学Ⅱ〕 第6章 微分法と積分法	・数列に関するこれらの考え方を基にして、漸化式と数学的帰納法について理解させる。 ・微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。				学 年 末

科目名	数学Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 普通科	3年1組（選択） 3年2組（選択）
学習の到達目標	指数・対数関数、微分・積分について、その概念や原理・法則の理解を深め、数学的活動を通して創造性の基礎を培い、事象を数学的に考察し、処理する能力や積極的に活用する態度を養う。			教科書・副教材等	新編 数学Ⅱ Study-Upノート 数学Ⅱ (数研出版) (数研出版)	
評価基準						
観 点		評 価 基 準			方 法	
知識・技能		基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。			・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
思考・判断・表現		各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力が身に付いている。			・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・プリント ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。			・課題への取組 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
学習計画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	[実用数学セミナー] 数と式の復習 方程式・不等式の復習 関数の復習 場合の数と確率の復習 図形の復習		・中学校や高等学校で学習した基本的事項を確認するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。			期 末
2 学 期	[数学Ⅱ] 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化		・累乗の意味を理解し、指数を自然数・整数・有理数・実数全体へと拡張できるようにする。 ・指数関数及び対数関数の定義を理解し、関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。 ・関数の平均変化率を考え、微分係数や導関数の定義を理解する。 ・グラフ上の点の傾きから導関数の符号により関数の増減を調べることができるようにする。 ・増減表を書いて、極大値・極小値、最大値・最小値を求めることができるようにする。			中 間 ・ 期 末
3 学 期	第3節 積分法		・微分の逆演算として不定積分の考え方を理解する。 ・積分の考え方をを用いて面積を求めることができるようにする。			実 施 な し

科目名	数学活用	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組（選択）	
学習の到達目標	就職試験を念頭に置き、数学における基本的な計算方法や知識を身に付けるとともに、概念や原理・法則の理解をさらに深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高める。			教科書・副教材等	数学基本ワーク (増進堂・受験研究社)	
評価						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。				・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力が身に付いている。				・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・プリント ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。				・課題への取組 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
学習計画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	・数の計算 ・式の計算 ・因数分解 ・約数と倍数 ・根号を含む式の計算 ・式の値 ・1次方程式 ・比例式 ・連立方程式 ・2次方程式 ・1次不等式 ・2次不等式 ・文章問題		・中学校と数学Ⅰ・Aの内容の基本的な計算ができるようにする。 ・因数分解や素因数分解を用いての計算や根号の計算ができるようにする。 ・いろいろな方程式や不等式が解けるようにする。 ・文章題に粘り強く取り組めるようにする。			期末
2 学 期	・1次関数とグラフ ・2次関数とグラフ ・図形と角 ・合同な図形 ・相似な図形 ・円 ・図形の面積 ・三平方の定理 ・立体の表面積・体積 ・三角比 ・規則性の問題 ・場合の数 ・順列 ・組合せ ・確率		・いろいろな関数とグラフについて考えさせる。 ・いろいろな図形についての考察をし、角の大きさ、辺の長さ、面積や体積が求められるようにする。 ・基本的な三角比の問題を確認する。 ・簡単な数列を考える。 ・場合の数や確率の復習をする。			中間・期末
3 学 期	発展学習		・3年間のまとめをする。			実施なし

科目名	数学Ⅲ・B・C	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 3年2組（選択）	
学習の到達目標	複素数平面、式と曲線、統計的な推測、極限、微分法及び積分法の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	新編 数学Ⅲ（数研出版） 新編 数学B（数研出版） 新編 数学C（数研出版） クリアー 数学Ⅲ+C（数研出版）	
評価						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。				・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力が身に付いている。				・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・プリント ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。				・課題への取組 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	[数学C] 第3章 複素数平面		・複素数平面において複素数の演算がどのように表されるかを理解し、複素数の計算を図形を用いて考察するとともに、図形の考察に活用できるようにする。			期 末
	[数学Ⅲ] 第1章 関数		・分数関数や無理関数の性質、逆関数や合成関数などを理解し、事象の考察に活用できるようにする。			
	第2章 極限 数列の極限 関数の極限		・微分法、積分法の基礎として極限の概念を理解し、数列の極限と関連させて関数の極限について理解するとともに、関数の連続性についても理解し、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。			
	第3章 微分法 導関数 いろいろな関数の導関数		・微分係数や導関数の定義を理解し、導関数の定義や公式を適用して、いろいろな関数の導関数を導き、それを用いて関数を微分し、それらを事象の考察に活用できるようにする。			
	第4章 微分法の実用 導関数の実用 いろいろな実用		・導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにし、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。			
2 学 期	[数学C] 第4章 式と曲線		・放物線、楕円、双曲線の定義や性質を理解し、それらを図示したり、問題の解決に活用したりできるようにする。			中 間 ・ 期 末
	[数学Ⅲ] 第5章 積分法とその応用 不定積分 定積分 積分法の実用		・様々な関数の不定積分を求められるようにし、それをもとに定積分を求められるようにする。また、定積分を面積として捉え、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。			
	[数学B] 第2章 統計的な推測		・確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。			
3 学 期	発展学習		・数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。			実 施 な し

